

放送ライブラリー公開番組＜中沢啓治さん関連のテレビ・ラジオ番組＞

※8階視聴ブースで視聴できます

＜テレビ番組＞				
番組ID	タイトル	放送局／分数／OA日	ジャンル	内容
003573	ドキュメントこれぞ人間 広島にオペラの灯を！ ゲンにかける男	テレビ新広島 25分 1981/9/20	ドキュメンタリー	広島のを伝えるオペラ「はだしのゲン」が上演されるまでのキャスト、スタッフの苦闘を通して、新しい地方文化の担い手たちの人間像を描くドキュメンタリー。◆ミュンヘン留学中に「自分は広島の人間である」と自覚したという音楽家の小野村和弘さんは、帰国後原爆を描いた劇画「はだしのゲン」に出会う。中沢啓治作のこの作品は当時劇画として初めて原爆を描いたことで評判になっていた。この劇画を原作にオペラを上演しようと集まった小野村さんをはじめとするスタッフに、数々の難題がふりかかる。
002638	ドキュメントこれぞ人間 広島と沖縄の心をつなぐ オペラはだしのゲン	テレビ新広島 25分 1982/9/26	ドキュメンタリー	オペラ「はだしのゲン」が沖縄で公演されるまでを追ったドキュメンタリー。広島のを沖縄の人たちに伝えるためには、広島を知り、さらに沖縄を知らなければならない。沖縄の悲惨さを目にしたそのまなざしが自分たちの舞台を見るのだ。戦争を知らない世代にとって、広島や沖縄を知ること、戦争への憤りを自分のものにするには、このオペラを歌い続けることだ。それが自分たちの戦争への闘いなのだ劇団員たちは思った。
003853	はだしのゲンは忘れない ～チェルノブイリの子もたちとの約束～	テレビ朝日 94分 1992/8/8	ドキュメンタリー	原爆の悲惨さを訴えたマンガ「はだしのゲン」の作者・中沢啓治が、彼の分身である「ゲン」とともに旧ソ連邦の核汚染地帯の最前線を歩き、メッセージを伝える。◆6年前に起こったチェルノブイリ原発事故は、多くの子どもたちの体を今もむしばみ続けている。また、セミパラチンスク核実験場では、多くの住民が被爆し、さらに障害を持った子どもがたくさん生まれてきている。放射能汚染に対する認識も甘く、汚染された故郷に帰らざるを得ない住民、遊牧民たちなど、被害はとめどなく広がっている。
＜ラジオ番組＞				
番組ID	タイトル	放送局／分数／OA日	ジャンル	内容
R00423	報道特別番組 天皇とヒロシマ	中国放送 50分 1989/1/8	ドキュメンタリー・ 録音構成	昭和天皇崩御翌日の特別番組のダイジェスト版。被爆者の視点を基調に何故もっと早く終戦に持ち込めなかったかを考える。